

鳥取のアートをもっと身近に! もっと楽しく!



アルテ

鳥取県文化振興財団 情報誌 vol.311

2020.SUMMER

特集

り か たきぎ のう

梨花薪能

ピックアップ 公演のみどころ

とっとりチェンバーオーケストラ

弦楽アンサンブルコンサート

松之丞改め 神田伯山 独演会

鳥取の未来のために

とっりの芸術宅配便

FOCUS ON

鳥取ジュニアオーケストラ



炎と宵闇が織り成す幽玄の美

梨花新能



©上杉 遥 能「翁」

来る8月29日、10数年ぶりに鳥取で新能が開催される。会場になぞらえ、その名も「梨花新能」。夏の夜の野外、揺らめくかがり火、浮かび上がる伝統の技——。趣向を凝らした能楽の舞台、その魅力に迫る。

自然と調和する薪能 中庭に満ちる原点の美



意外と身近な能楽 想像を膨らませて

「能や狂言は、どう鑑賞すればいいのかわからない」と尻込みする人は多いかもしれない。しかし私たちは暮らしの中で、知らず知らずのうちに古典芸能の世界観に触れている。例えば教科書に出てくる歴史絵巻、桃の節句のひな人形、神社での結婚式、TV・映画の時代劇等々。だから能や狂言を目の前にすれば、刷り込まれたそれらの記憶がよみがえり、
「なんとなく分かるはずだ。」

「演目のすべてをきっちり理解する必要はなく、役者の動きや言葉が少しでも分かればOK。そこから『今こんな場面なのかな』『こう言っているところなんだらうな』と、想像を膨らませながら観ていただくことが大事」。梨花新能の出演者であり、プロデュースも務める

林宗一郎さんは、楽しみ方をそう指南する。

能は、「シテ」と呼ばれる能面を付けた主人公を中心に舞や所作、謡で表現され、地謡と囃子が登場人物の心情、場の状況を盛り立てる。演目の多くは『平家物語』『今昔物語』等の古典が基になっており、神仏への信仰、戦のむなしさ、愛情や嫉妬など深いテーマが込められている。

片や狂言は、会話調の喜劇。能面を付けない、直面の役者が庶民の日常生活の中で起こる様々な出来事や人間模様を面白おかしく演じる。

相反するような能と狂言だが、実は源は1つ。合わせて「能楽」と呼ばれ、「能・狂言・能」の構成が基本の上演スタイル。通常「能楽堂」という屋内の専用劇場で行われるが、夜間の野外、かがり火の中で披露されることも。それが「薪能」だ。

林 宗一郎

能楽師観世流シテ方

京観世五軒家のうち、唯一残る林喜右衛門家の十四代当主。1979年、京都市生まれ。3歳で「鞍馬天狗」の花見役に初舞台。父・十三世林喜右衛門、および二十六世観世宗家、観世清和に師事。これまでに「乱」「石橋」「道成寺」「翁」等を披(ひら)く。京都、東京、岡山、鳥取の稽古場にて謡と仕舞の指南にあたり、体験講座などの普及活動も積極的に行っている。



神仏への奉納が起源で、神社仏閣の境内、城下の庭園などで催されることが多い。

古典芸能×現代建築の 融合がもたらす斬新さ

しかし今回の舞台が置かれるのは、とりぎん文化会館の中庭。ケヤキが空高く繁り、円形の芝庭に水場という洋風な空間だ。にもかかわらず林さんは、「なんといい場所だ」とインスピレーションを感じたという。「能舞台は、昔は屋外にあったんです。風の音、鳥や虫の声、川のせせらぎ、月光、星の瞬き、そして夜の暗闇と、自然のすべてが舞台効果

でした。そうした能楽の原点に帰ることができるのは非常にうれしい」と語る。

さらに林さんの感性を刺激したのは、背景となるのが金属枠に縁取られた一面ガラス張りの壁だということ。「現代の建築物に600年以上の歴史を持つ能楽を合わせることで、どういう化学反応が起きるのか楽しみ。時空が歪むんじゃないかな(笑)」と目を輝かせた。

県内で本格的な能楽を鑑賞できる機会は少ないが、梨花新能はそれを堪能できる上、これまでにない演出が楽しめる特別な舞台。このチャンス逃す手はない。



とりぎん文化会館の中庭。ガラス壁前に特設能舞台が組み立てられる。



平成10年9月、鳥取市内の樽谿公園で開催された「鳥取新能」。

精進を重ねてきた
地元愛好者も披露

さて梨花薪能は、2部構成となつている。第1部は、鳥取県能楽連合会による連吟と舞囃子。能には5流派があるが、県内では観世・宝生・喜多の3流派が盛んで、鳥取喜多流連合会、鳥取宝生会、鳥取観世会、鳥取松響会の4団体・約37名が出演、日頃の稽古の成果を発表する。

聞かせどころを2人以上で謡う連吟では、我が子を亡くして狂乱する母親の悲劇「隅田川」や、源頼政の霊が緊迫した源平合戦の様子を語る「頼政」などを披露。舞囃子は、演目の主要となるシテの所作・舞を紋付き・袴姿で舞う形式で、地謡と囃子を伴うもの。祝言曲としても知られる「高砂」をはじめ数曲を上演する。

5年ほど前から鳥取に通つて門下の指導にあたっている林さんは、「舞の姿勢、謡の声、稽古への意気込みから地道な精進と能楽への熱意がうかがえ、うれしい限り」と門下生を讃える。中には、小学生の時から習っている高校生もいるとか。「人に見せつけるような舞台を目指すのではなく、演目のテーマを理解し、稽古を積み重ねる中で己と向き合い、自分の限界を乗り越える。それが能のありよう」と伝えている。その精神にプロ・アマの違いはない。地元愛好者の力演が楽しみだ。

選びました」と林さん。大蔵流狂言「寝音曲」の注目ポイントは、主人公・太郎冠者を演じる茂山忠三郎さんの演技力と笑いを誘う絶妙な間。横になった状態で高らかに謡う妙技も見どころだ。

そしてラストを飾るのは、林さんがシテ方として稲荷明神を務める観世流能「小鍛冶白頭」。平安時代の京都が舞台、刀匠として名高い三條小鍛冶

かがり火がいざなう
一夜限りの夢幻



心打たれる
本格的な技と気迫

徐々に夕闇に包まれる第2部では、プロによる本格的な舞台が繰り広げられる。「能楽を初めてご覧になる方でも分かりやすく、楽しめる演目を



平成30年4月、京都観世会館で行われた京都松響会春の大会。鳥取松響会の方も出演した。

宗近が一条天皇より御剣奉納の勅命を受けるシーンから始まる。御剣を打つには自分と劣らぬ力量を持った相槌の者が必要だが、それがおらず困り果てた宗近は、氏神である稲荷明神を参拝。すると稲荷明神の化身が現れ、その相槌により見事に御剣「子狐丸」を打ち上げたというストーリー。緩急のある舞と謡、テンポが良く高揚感のある地謡や囃子で、変化に富み、観る人を飽きさせない傑作だ。

演目の後半、宗近の相槌を務めようと、さっそうと登場する稲荷明神の舞が実に格好いい。林さんは「役者が発する『エネルギー』を感じ取ってもらいたい。また、地謡や囃子と息を合わせ、全員で一つの波をつくり出す巧妙が能楽の魅力。その熱量、気持ちの高まりを観客の皆さまと共有できたら」と、舞台への強い思いを語った。



©上杉 遥 能『吉野天人』

能

金色の面？

「小鍛冶」の後半、さっそうと現れる稲荷明神の能面に注目あれ。なんと全面金色で、カッと見開いた目玉、大きな口に並ぶ歯までキラキラ！神や精霊、怨霊といった超自然的な登場人物の能面には金粉を溶いた顔料が使われている。それは「特殊な強い力」を持つ証だ。このように能面や装束、小道具等にも目を凝らすとさらに楽しめる。

喝食(かっしき) 前半に登場する、不思議な少年に使用される能面。



槌と刀身 演目の山場、御剣を打つシーンの重要な小道具。

みどころ



◎酒忠之

牙飛出(きばとびで)

狐載(こたひ) 稲荷明神の冠。狐がかたどられている。



狂言



「寝音曲」のあらすじ

太郎冠者の上手な謡をたまたま耳にした主人。自分の前で謡うよう命じるが、今後たびたび謡わされては迷惑と思った太郎冠者は、酒を飲まねば謡えない、妻の膝枕でないと声が出ないと言いつつ。そこで主人が酒を振る舞い、自分の膝を貸してやると、寝ているときは謡えるのに起きると声がかすれるふりをする。しかし、次第に酔いが回ってきた太郎冠者は、寝起きを繰り返すうちに順番を取り違え……。2人のコミカルな駆け引きがなんと面白い！

TOTTORI BANK 鳥取銀行 プレゼンツ 「梨花薪能」
古典芸能体験事業

2020年8月29日(土) 開場 15:00 開演 15:30

会場 とりぎん文化会館 中庭 特設能舞台

お問合せ | とりぎん文化会館 ☎0857-21-8707
公演の詳細は、Webサイトからご確認ください。

【主催】(公財)鳥取県文化振興財団 【共催】鳥取県能楽連合会

《第一部》15:30 開演
出演 | 鳥取喜多流連合会、鳥取宝生会、鳥取観世会、鳥取松響会
演目 | 連吟/頼政、隅田川、黒塚、舞囃子/高砂、実盛、巻絹、須磨源氏

《第二部》18:00 開演
出演 | 林宗一郎(能楽師観世流シテ方)、茂山 忠三郎(能楽師大蔵流狂言方)ほか
演目 | 大蔵流狂言/寝音曲、観世流能/小鍛冶 白頭

入場無料
要入場整理券
ご好評につき
配布は終了
いたしました。

観客を夢中にさせる多彩な表現力

Information

託児あり
切:9/27

開催日 | 2020年10月11日(日)
会場 | 倉吉未来中心 大ホール
時間 | 開場 14:45 開演 15:30
料金 | 全席指定(税込)
一般 3,800円
U22 2,000円
U15 1,000円
ハーフプライス 2,000円(当日限定)
一般発売 | 9月6日(日) 10:00~予定
主催 | (公財)鳥取県文化振興財団
お問合せ | 倉吉未来中心
TEL.0858-23-5391

今、最もチケットの取れない芸人と言われる神田伯山^{かんだ ぼくざん}さん。人気の理由は、徹底したわかり易い講談、毒の交じったおもしろい枕、そして、自由自在に人間の持つ感情を表現する描写力にあります。人々を自然と話の世界に引き込み、心地よくさせる裏側には、膨大な練習量とネタの歴史的背景等の深い研究があると、複数のインタビューでも語られています。

また、ラジオ番組『神田松之丞 問わず語りの松之丞』^{まつのだじょう}(現:問わず語りの神田伯山)が2019年日本民間放送連盟賞番組部門「ラジオエンターテインメント部門」で優秀、YouTubeチャンネル「神田伯山ティービー」は、第57回ギャラクシー賞テレビ部門フロンティア賞を受賞。媒体を問わず「語り」と「講談」に関連するコンテンツでも、惜しみなくその才能を発揮し続けています。

人気絶頂の公演を是非、倉吉でお楽しみください。

～ 鳥取銀行プレゼンツ ～

松之丞改め 神田伯山 独演会



鳥取の音楽家が奏でる弦楽の名曲



『弦楽アンサンブルコンサート』音楽監督:フェリックス・アーヨ(2016年11月/とりぎん文化会館梨花ホール)

～ プロデュース公演《音楽》～

とっとりチェンバーオーケストラ 弦楽アンサンブルコンサート

鳥取県出身・在住のプロ奏者による室内合奏団「とっとりチェンバーオーケストラ」が、この秋、4年ぶりに大ホールで公演、弦楽器の美しい旋律が会場を包みます。

今回は、ヴァイオリニストで東京藝術大学長の澤和樹さんを指揮に迎え、“神童”モーツァルトが16歳で作曲した流麗で瑞々しい作品をはじめ、『弦楽セレナーデ』や『シチリアーナ』など、聴き覚えがあり、記憶に残る名曲の数々が披露されます。

同合奏団は、2016年のプロデュース公演をきっかけに結成。メンバーは、「鳥取県クラシックアーティスト・オーディション」受賞者や、県内外で精力的に活動し弦楽文化に貢献する奏者、国内外でオーケストラに所属して活躍する奏者など、鳥取を代表する多彩な顔ぶれです。煌めくアンサンブルの響きにご期待ください。

Information

託児あり
切:10/20

開催日 | 2020年11月3日(火・祝)
会場 | 倉吉未来中心 大ホール
時間 | 開場 13:15 開演 14:00
料金 | 全席自由(税込)
一般 3,000円
U18 1,000円
指揮 | 澤和樹
コンサートミストレス | 山田美怜
演奏曲 | モーツァルト:
ディヴェルティメント K.138 へ長調
レスピーギ:
リュートのための古代舞曲とアリア第3組曲
チャイコフスキー:
弦楽セレナーデ 作品48 八長調
主催・制作 | (公財)鳥取県文化振興財団
お問合せ | とりぎん文化会館
TEL.0857-21-8707

鳥取ジュニアオーケストラ

弦楽器や楽曲と真剣に向き合う中で、仲間と協力し合うことの大切さ、音楽の楽しさに目覚めていく子どもたち。鳥取県東部唯一のジュニアオーケストラ、その若葉のように艶やかなハーモニーは可能性にあふれている。



お話を伺った人



指揮・指導
久保田 昌平さん

第23回定期演奏会(令和元年/とりぎん文化会館小ホール)
今年は8月23日(日)に同会場で開催予定。

心を一つに自分たちの音色をつくる

習っているエレキで弦楽器の音を出すことがよくあるんですが、本当の弦楽器ってどうやって弾くんだろう、本物の音色はどんなものか聴いてみたい、と思ったのが入団のきっかけです。チェロは大きくてカッコいい楽器。オーケストラでは低音のパートで、比較的単純なリズムが多いけど、ほかの楽器と音が合ったときはすごく気持ちいいです。今後は難しいソロ曲にも少しずつ挑戦したいと思っています。

山田 芽依さん
鳥取市立城北小学校 6年
入団1年目/チェロ

弦楽器(ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス)を演奏する小学生から高校生の子どもたちで構成されるオーケストラで、平成8年に結成されました。永見信久先生(鳥根大学名誉教授/ヴァイオリニスト)を中心に、鳥取市交響楽団の団員やジュニアオーケストラを卒業したメンバーで指導を行っています。

音楽に関しては子ども扱いをしないということ。「子どもだから分らないだろう」とレベルを落とすのではなく、一定のラインにグッと引き上げていけるようなレッスンを心がけています。このオーケストラから巣立って、プロの演奏家として活躍している人もいます。

オーケストラの魅力は、みんな心で心を合わせて一つの音楽をつくり出すこと。そこには大きな学びと心の成長があります。年1回定期演奏会と発表会を開催するほか、楽器体験も行っていますので、ぜひお越しください。



触れる

芸術を子どもたちのもとへ届けます。



とっとりの芸術宅配便

学校に芸術を届けて18年

鳥取県にゆかりのあるアーティストが小中学校、特別支援学校等へ直接出向き、鑑賞やワークショップを通じて、子どもたちに生の文化芸術を体験してもらおう「とっとりの芸術宅配便」。平成15年に始まったこの事業は、今年度で18年目を迎えます。

クラス単位など、少人数からの実施が可能であり、アーティストとの距離がとても近いので、迫力や息遣いなどを全身で感じられるのが最大の魅力です。また、アーティストの多くは県内在住、あるいは地元出身の方々なので、より親しみを感じられるはず。「自分にもできるかも」と夢や目標を持ってほしい、そんな願いを込めて活動を続けています。始めた当初は全国的にまだ珍しかったこの取り組みも、今では各地で行われるようになりました。

**響け、みんなのハートへ！
とっとりのアートをデリバリー**

今年度も、鳥取県の未来を担う子どもたちに、文化芸術との新しい出会いをお届けしていきます。

子どもたちは、大人と一緒に行かない限り、なかなか「生の音楽や演劇に触れる機会を得られません。「好きな人だけが行けばいい」という人もいるかもしれませんが、子ども時代に様々な文化芸術に触れ、多様なジャンルや世界のことを知り、心動かされる体験をすることは、人間の「心の豊かさ」にきっと繋がっていくと考えています。

触れる・育てる・創る・伝える

ARTS FOR EVERYONE



人と人とのつながりを大切にして展開している、若者たちに向けた財団の取り組みを紹介します。



『生』を体感し心豊かに

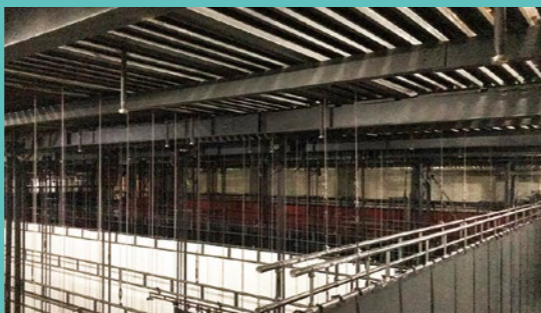
このように、劇場を飛び出して学校など地域の中で行う活動を「アウトリーチ」といいます。普段、文化芸術に触れる機会の少ない人、全く関心のない人、あるいは興味があってもホールに足を運ぶことができない人たちに対して、こちらから出向き、働きかけを行うことで、文化芸術との新たな出会いを作ることができます。

かげの立役者たち ～劇場裏のウラ～

財団技術管理部のスタッフが劇場の裏側をご紹介！
ステージや劇場施設そのものを見えないところで支えている、特殊な構造や設備機器などをお見せします！



“すのこ”状の舞台の天井部



“すのこ”の隙間から降ろされた無数のワイヤー

舞台演出を支える 天井部の仕組み

舞台の天井部の仕組みをご存じですか。今回は
梨花ホールを例に、その構造をご紹介します。

舞台床面から30m上は“すのこ”状になっていて、
無数のワイヤーと滑車が足の踏み場もないほど整然
と配置されています。“すのこ”の隙間から降ろされ
たワイヤーによって、およそ30cm間隔に配置された
40本余りの美術パトン[※]のほか、様々な機構装置が
吊り下げられています。

スズと呼ばれる重りでバランスが保たれたこれらの
機構は、滑車に導かれたワイヤーを電動で巻き上
げたり送り出したりすることで上下し、美術パトンに
設置された幕や舞台道具などの高さや動きを寸分の

狂いもなく制御することで、様々な舞台演出を可能
にしています。

長年に渡り、幾度となくその動きを繰り返すことで
これらの部品は少しずつ磨耗、劣化していきますが、
定期的な点検、交換を行い、正確な動きと舞台上の
安全を維持しています。まさに今、梨花ホールでは
交換作業が行われており、新たな感動を生み出す
ため、再び動き出すその瞬間を静かに待っています。

※美術パトン：幕類や看板、舞台道具などを吊るす棒状の装置

INFORMATION インフォメーション

(公財)鳥取県文化振興財団 友の会プレミアム会員募集中!

◆主な会員特典(対象外となる公演もございます)

- 特典1** チケットの先行販売サービス
財団が指定する公演の良いお席を先行して購入できます!
- 特典2** 積立ポイントによるチケット購入
ポイントを貯めて、財団主催公演のチケットを購入できます!
※一部対象外となる公演もあります。
- 特典3** 催し物のご案内
財団情報誌「Arte(アルテ)」などの案内をお送りします!
- 特典4** レストラン等協力店での割引サービス

年会費
2,000円
有効期限
1年間[※]

詳細はこちら



鳥取県文化振興財団
インターネット・チケットサービス
並ばずラクラク♪
今、インターネットでの購入が増えています。

- ▶空席確認、座席選択OK!
- ▶好きな場所・時間に購入OK!
- ▶クレジット決済可能!
- ▶イベント情報をメールでゲット!

利用登録(無料)はこちら



【入会方法】とりぎん文化会館・倉吉未来中心・アルテプラザ(米子天満屋4階)の窓口 ほか

お問合せ とりぎん文化会館 ☎0857-21-8707

※入会月から翌年の同月末まで

編集後記

いつもご愛読いただき、誠にありがとうございます。この度、情報誌「アルテ」が新しく生まれ変わりました。「紙の劇場」をコンセプトに、読むだけでワクワクするような紙面を目指します。次号は9月20日発行です。お楽しみに!(S)

鳥の眼

地元素材の発掘を

「とりアート(※2)」も、「若手育成
とレベルアップ」に力点を置くべき。メ
イン事業は東中西部を巡演すれば、
演技力もずつと向上する。当然、再
演に値する内容が求められ、そこは
地元の脚本家や地元素材を発掘
し、現代社会に通底する問題を取上
げてほしい。内容が身近になれば、
県民の関心も動員も高まる。縁遠い
内容では、人心も動かない。
例えば農山村の悩み、戦中の玉栄

郷土文化をいかに育て、県民参加
をどう促すべきか。果てしない課題だ
が、機関誌「アルテ」が刷新されたのを
機に、私見を忌憚なく述べてみよう。
行政支援はありがたいが、慢性化
の怖れがあり、目的意識を明確にする
必要がある。間違っても大人の空
騒ぎでなく、若者を取り込んで未来
に繋ぎたい。その意味で「U18」の戯
曲創作^{※1}は大きな意義を持つ。
いまを生きる悩みなど、一貫したテー
マを追求したい。
音楽オーディショ
ンは、受賞後も教

PROFILE

文筆家
角秋 勝治さん

鳥取市生まれ。幅広い知見と経験を
活かし、地域の文化芸術の発展・振
興に貢献している。著書『鐘は既に
鳴れり-碧川かたとその時代』、編著
『画集・中島菜刀』など。月刊美術
評論公募「愛と実在の接点-織田廣
喜の源流と展開」が入選。鳥取県出
版文化賞、鳥取県教育表彰、鳥取
市文化賞受賞。

※1「U18」の戯曲創作は18歳以下の
若者が戯曲を書き上げ、演じる、
演劇プロジェクト
※2とりアートは鳥取県総合芸術文化
祭の愛称。県民自らの手による総
合的な文化・芸術の祭典

丸爆発、大山口空襲、鳥取大震災、
女権運動家の碧川かた、時代劇では
「勘右衛門一揆」など。現代に通じて、
郷土演劇の遺産となるろう。
運営委員や評価委員の機能アップ
へ、詩人たちの批評眼を生かして精
度を上げるのも一方法。県展の発展
のためには、審査の方法等早急に改
善すべきであろう。また、かつては優
れた出版物を5点選び、全国へ情報
発信する制度があったが、文芸復興
のためにぜひ復活してほしい。短文
で言い尽くせないが、ご意見があれば
幸いです。

メンバーに聞きました!

始めたきっかけを教えてください



柳原



石井

自分の入学式で披露された先輩
方の演技で初めて郷土芸能に出
会い、神楽というものに少し興
味が湧きました。その後部活動体
験をしていくうちに神楽への興
味や関心、楽しさが生まれたから
です。

目標を教えてください。また、その
ために取組んでいることは?



柳原



石井

最終目標は12月の県大会で最優
秀賞を獲得することです。新型コ
ロナウイルス感染症対策のため多
くの公演が中止になってしまっ
た今、校内の目立つ場所で練習し、
観られるなかで表現力をつけてい
こうと考えています。

アルテの読者に伝えたいことは?



柳原



石井

神楽は現在、触れる機会が少なく
なっていますが、とても楽しく面白
いものです。自分の知らない日本の美
しさを観てはいかがでしょうか?



地域に残る荒神神楽を継承すべく、多方面
よりご支援いただき活動を続けており、地元
のお祭りなど依頼があれば校外でも公演をして
います。荒神神楽「八重垣能」は出雲神話、
古事記でおなじみの八岐大蛇退治を神楽化し
たもので、八岐大蛇をササノオの尊が退治し
姫を助ける物語です。学校近くの船通山が発
祥の地といわれています。

【代表者】顧問 金田清夏教諭
【設立】平成7年 【メンバー数】10人
【話を聞いたメンバー】
柳原虹架さん(3年) / 活動歴2年4か月
石井美咲さん(3年) / 活動歴2年4か月



青少年
古典・郷土芸能
グループ紹介
vol.1

【日野高等学校 郷土芸能部】 地域に残る荒神神楽を継承

イベント
主催

はじめての能楽ワークショップ

能楽の魅力を一から体感！
能楽を知らない人でも魅力や楽しさが分かる内容が盛りだくさんのワークショップ。

日時 | 8月8日(土)

子ども向け 13:00~14:30

一般向け 15:30~17:30

会場 | とりぎん文化会館 リハーサル室

参加費 | 500円(定員各回20名・申込先着順)

※申込方法などの詳細は開催情報をご覧ください。



©清忠之

開催情報



お問合せ | とりぎん文化会館 TEL.0857-21-8707

イベント
主催

倉吉未来中心 未来つながるプロジェクト 緊急企画「#どこでも未来中心」

あなたのスマホやパソコンと
倉吉未来中心がつながる特別企画展開中！

予期せぬ「新型コロナウイルス」の感染拡大。そんな中であって、ご家庭でアートに触れてほっこりできるコンテンツをお届けしています。ぜひアクセスしてみてください。

▶自宅で楽しむ ネットでアート！

▶みんなの未来中心！WEBぬりえ展覧会など



詳細



お問合せ | 倉吉未来中心 TEL.0858-23-5391

イベント
特別共催

7本指のピアニスト 西川悟平 トーク & ピアノコンサート

2020年最注目！

心揺さぶる演奏に誰もがくぎ付けとなる—

日時 | 9月13日(日) 開演 14:00

会場 | 倉吉未来中心 大ホール

チケット | 全席指定(税込)※未就学児入場不可
5,000円 ※当日券500円増し

再発売 | 調整中。詳細は公演情報にてお知らせします。



公演情報



お問合せ | 日本海新聞 中部本社事業課
TEL.0858-26-8340

イベント
特別共催

春風亭昇太 独演会 米子公演

今年も登場！新作、古典を織り交ぜた
落語の真髄をお楽しみください。

日時 | 11月13日(金) 開演 19:00

会場 | 米子市公会堂
大ホール

チケット | 全席指定(税込)※未就学児入場不可
4,000円

一般発売 | 9月12日(土) 予定

※詳細は決まり次第、鳥取県文化振興財団ホームページにて公開します。



お問合せ | BSS山陰放送 TEL.0859-33-2111

お知らせ

アルテのロゴが新しくなりました！

アルテのリニューアルに伴い、
ロゴも新しくなりました！
カラフルな色使いで、様々な
文化芸術を紹介する多様さを
表しました。

詳しくは、次号のアルテでご
紹介します。新たなロゴにも
ぜひご注目ください！

【ロゴデザイン】有限会社キーワード



アルテ

愛情・幸福

希望・元気

誠実・信頼

発展・環境

上記4色の調和

お知らせ

掲載イベントにつきまして

掲載のイベントは新型コロナウイルス感染症の
影響により、中止・延期になる場合がございます。
最新情報はお問合せ先へご連絡ください。

なお、チケットに関しましては、一部、
お支払いを伴わない「予約」としてあります。

※チケットはとりぎん文化会館、倉吉未来中心、アルテプラザ、鳥取県文化振興財団インターネット・チケットサービス等でご購入いただけます。
※車椅子席・介助席・託児をご希望の方は、各イベントのお問合せ先へご連絡ください。
※アンダーチケット(U22、U18等)で入場の際は、公演当日身分証明書等の提示が必要です。
※イベント内容に変更になる場合があります。



最新情報は、鳥取県文化振興財団 公式Facebookページでチェック！



鳥取県文化振興財団 FB

とりぎん文化会館 (県民文化会館)

公益財団法人 鳥取県文化振興財団 事務局
〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5
TEL.0857-21-8707 FAX.0857-21-8705
✉ bunka@torikenmin.jp



【休館日】

年末年始および毎月第2・4・5月曜日
(祝日の場合は、その翌平日)

http://www.torikenmin.jp/kenbun/



倉吉未来中心

公益財団法人 鳥取県文化振興財団
〒682-0816 倉吉市駄駈寺町212-5
TEL.0858-23-5391 FAX.0858-47-0255
✉ mirai@miraichushin.jp



【休館日】

年末年始および毎月第1・3・5月曜日
(祝日の場合は、その翌平日)

http://www.miraichushin.jp/



アルテプラザ

公益財団法人 鳥取県文化振興財団 西部事務所
〒683-8510 米子市西福原2-1-10 米子天満屋4階
TEL.0859-38-5127 FAX.0859-38-5128
✉ seibu@torikenmin.jp

【休業日】

年始および毎月第1・3・5月曜日
(祝日の場合は、その翌平日)

http://www.torikenmin.jp/artepiazza/

